

令和5年1月21日(土)

始良川かわまちづくり整備箇所で開催されました 「鬼火焚き」

～鬼火焚きとは～

竹櫓(たけやぐら)とともに、その年飾った正月飾り(門松やしめ飾りなど)を焚いて、火と竹のはじける音で鬼や悪霊を追い払い、燃え盛る炎を前に、1年間の無病息災、家内安全などを祈願するものと考えられています。
水面に映る炎が神秘的でした。



～川と人をつなげる「かわまちづくり」～

『「かわまちづくり」とは、河川空間とまちの空間の融合により良好な空間形成を目指す取り組みです。市、民間事業者、地元住民と河川管理者が連携し、水辺の整備・利用を計画し、河川管理者が取り組みを支援します。始良川かわまちづくりでは、鹿屋市や地域住民等と協力して事業を進め、平成31年度に事業に着手し、令和3年度に整備が完了しています。』

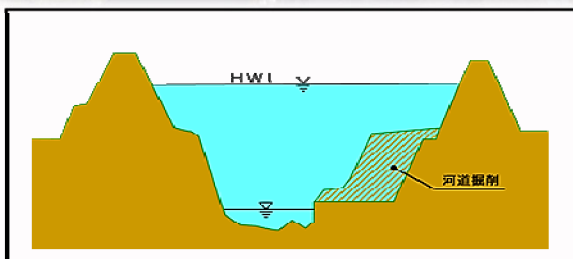


令和4年8月より 肝属川川西地区掘削護岸工事中



ただいま、川西地区の肝属川の河道を掘削工事中です。

令和2年7月洪水で、上流の新川地区は大規模な内水浸水被害に遭いました。新川地区の下流にあたる川西地区の河道掘削により、肝属川の水位低減と新川地区の内水被害軽減を図ります。



堤防にある、この小さな家が
南木水門です。



河川学習会

肝付町立宮富小学校の
みなさんと一緒に
「肝属川」について学びましょう

令和5年1月24日（火）、宮富小学校の5・6年生の皆さんと河川整備の重要性と水害から暮らしをまもる治水事業について学習しました。（株）二宮鉄工の鶴田様より肝属川や水門について説明がありました。皆さん、たくさんメモをとりながら一生懸命にお話を聞いてくれました。教室で詳しく勉強した後に、実際に南木水門へ行き、普段は見る機会のない水門が開く様子などを見学したり、水門の操作なども体験してもらいました。



現場へ到着！説明を受けて上屋の中へ
Lets'Go！！



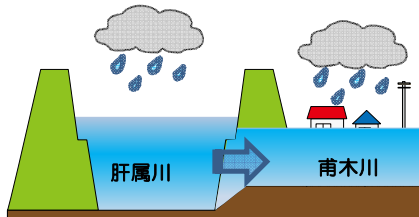
訓練のために閉めてあった水門を操作し、水門を開けました。



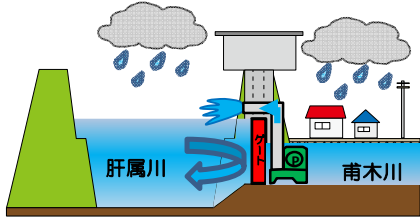
水門ゲートが開き、水が肝属川へ流れました。

水門の役割

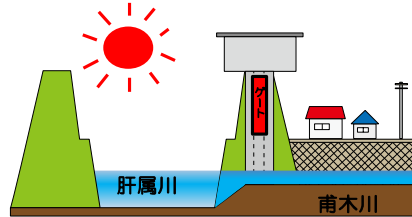
水門がないと、肝属川の水が南木川に逆流して、氾濫を引き起こします。



水門により、肝属川の逆流を防ぐことができます。



平常時は、水門ゲートを開き、南木川の水を肝属川に流します。



へえ～なるほど！

肝属川もののしコーナー

●長さは **34 km**

川の長さは、源流から河口までをいいます。

●面積は **485 km²**

降った雨がその川に集まる範囲のことを「流域面積」といいます。

●流れ込む川は

35本 肝属川に流れ込んでいる小さな川・支川は串良川、高山川、始良川など35本もあります。

●川にも右や左、内や外、表や裏があるんだよ。

川の流れていく方向(下流)に向かって右側を**右岸(うがん)**、左側を**左岸(さがん)**といいます。川の内外や表裏をいうときには、堤防が境目となります。堤防に守られて私たちが暮らしている場所を**堤内(ていない)**、堤防にはさまれて川が流れている所を**堤外(ていがい)**といいます。

●肝属川ってきれいな？

私たちの生活や仕事から出るよごれが、川をよごす原因になっています。いちばん多いのは台所です。油や食べ残しをそのまま流すことが、川をよごしているのです。私たちが汚れを少しでも出さないように工夫すれば、川はきれいになります。



大隅河川国道事務所のホームページはこちら。
防災情報など役立つ情報が満載です。

<http://www.qsr.mlit.go.jp/osumi/>



Twitterフォローお願いします

大隅河川国道事務所 Twitter 検索

検索したら出てきます！たくさん情報ツイートしています

*肝属川に関する意見、質問、何でもどうぞ…
〒893-1207 肝属郡肝付町新富1013-1
大隅河川国道事務所 調査第一課
tel:0994-65-2541 fax:0994-65-9630